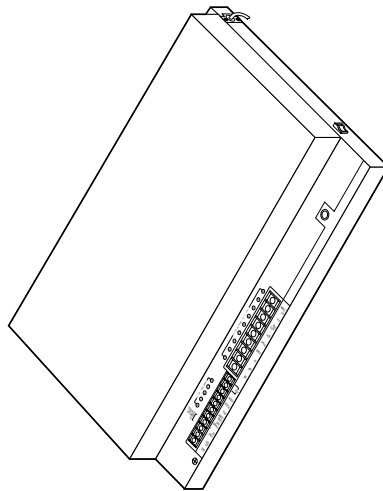




取扱設置説明書

RB-5129

リレーボックス



「お買い上げありがとうございます。」
 ご使用前にこの「取扱説明書」と「安全上の注意」を
 よくお読みの上、正しくお使いください。
 お読みになったあととは、いつでも見られる所に大切に、「保
 証書」といっしょに保管してください。



私たちは環境・資源をたいせつにしています。
 エコマーク認定の再生紙(古紙50%含有)を使用しています。

SC96764-002



お客様ご相談センター
 〒113 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル 電話 (03) 5684-9311
 〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル 電話 (06) 765-4161
 プロビクター事業部
 〒192 東京都八王子市石川町2909-2 電話 (0426) 60-7244 (ダイヤルイン)

正しくお使いいただくためのご注意

- 直射日光が当たる場所、湿気やほこりの多い場所や振動の多い場所への設置はおやめください。故障の原因となります。
- ラジオやテレビの送信アンテナ、変圧器やモーターなど強い電界磁界の近くで使用される場合、誤動作することがあります。このような場合、本機の接続ケーブルに磁気、電界遮蔽を設けてください。
- 湿度や電圧変動により、オートハン等が停止することがあります。この場合は、リモートコントロールユニットRM-P2100のデフロスター・ワイパー・照明を一度OFFにし、再度ONにしてください。
- 本機の電源は、システムの一部初めに入れてください。あとから入れた場合は、リモートコントロールユニットRM-P2100のデフロスター・ワイパー・照明の表示と動作に違いが生ずることがあります。

このたびは

リレーボックス

RB-5129を

ご購入いただいき

ありがとうございます。

目次

取扱説明書	2～8
特長	2
正しくお使いいただくためのご注意	3
保証とアフターサービスについて	3
各部の名称とはたらき	4
操作のしかた	5～7
定格	8
設置マニュアル	9～11
接続できる商品について	9
設置のしかた	9
接続方法	9～10
SW-2100の設定（必ずおこなってください）	11
RB-5129の設定	11

特長

- リモートコントロールユニットRM-P2100から、本機を接続したレンズ・回転台のコントロールが可能です。
- 同軸ケーブル1本でシステムコントロールSW-2100と接続でき、工事性に優れています。

ご注意

レンズや回転台のプリセット機能はありません。

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はご購入し上げた販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

● 保証期間について

保証期間はお買い上げより1年間です。保証書の記載内容によりお買い上げた販売店が修理致します。なお、修理保証以外の補償はいたしません。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧下さい。

● 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げた販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

● アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご購入、ご購入、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げた販売店または別紙ビクターサービス窓口案内をご覧のうえ、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買い上げた販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

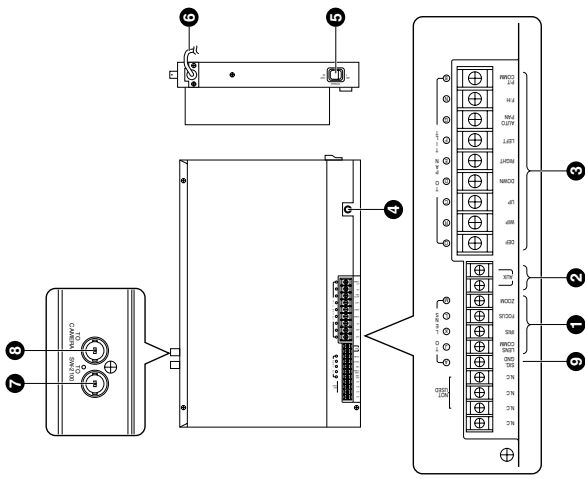
・機種名：RB-5129

・故障の状況をできるだけ詳しく：

・ご購入年月日：

・ご住所、ご住所、電話番号

各部の名称とはたらき



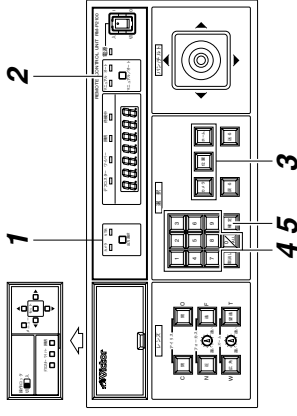
- 1 [TO LENS] レンズ出力端子**
電動ズームレンズとの接続端子です。回転台・ハウジングを経由して、電源ズームレンズに接続します。
- 2 [AUX] 予備出力端子**
リモートコントロールユニット RM-P2100の照明ボタンを押すとメイトク接点が出されます。
(詳細は7ページ操作のしかたをご参照ください。)
- 3 [TO PAN/TILT] 回転台出力端子**
回転台との接続端子です。DEF, WIP, F/Hは回転台を経由してハウジングに接続します。
- 4 電源表示灯**
電源スイッチ **5** が「ON」のとき点灯します。
- 5 [POWER] 主電源スイッチ**
電源の「ON」・「OFF」スイッチで通常「ON」で使用します。
- 6 電源コード**
商用AC100Vコンセントに接続してください。
- 7 [TO SW-2100] システムコントロールローラ接続端子**
SW-2100と同軸ケーブルで接続します。
- 8 [TO CAMERA] カメラ接続端子**
回転台とハウジングを経由して、カメラと接続します。
- 9 [SIG GND] グランド端子**
通信は使用しません。
本機とハウジング間のGND電位の電位差により、ノイズ等が発生する場合は回転台WB-2502のGND端子と接続してください。

ご注意
NC表示の端子は使用できませんので、何も接続しないでください。

ご注意
5 が「ON」で接続されたカメラコントロールユニットの電源が「ON」のときのみ、本体は使用できます。

操作のしかた

詳細はRM-P2100の取扱説明書をご参照ください。

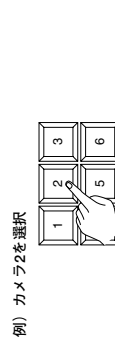


■ 本機の接続されているカメラ番号を選択し、操作可能な状態にします。

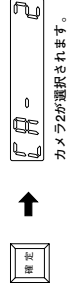
- 1** 出力選択ボタンにより、カメラを選択します。
カメラ VTR
出力選択
"カメラ" 表示灯が点灯します。
- 2** マニュアル/オートボタンによりマニュアルを選択します。
例) CA-1でマニュアルにしたとき
マニュアル オート
オート機能が停止し
たときの画面のカメラ番号
が表示されます。
"オート" 表示灯が消灯し
"マニュアル" 表示灯が点灯します。
- 3** カメラまたは、ホームボタンを押します。
カメラ
または
カメラ

2 マニュアル/オートボタンによりマニュアルを選択します。

4 本機が接続されているカメラ番号を選択します。

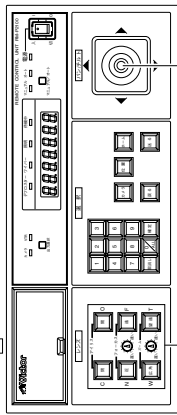
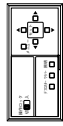


5 確定ボタンを押して決定します。



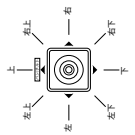
カメラ2が選択されます。

操作のしかた

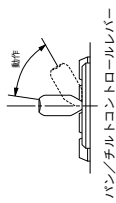


■ 選択したカメラの操作をおこないます。

1 回転台操作のしかた

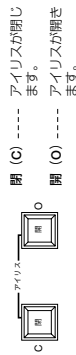


- パン/チルトコントロールレバーの倒す向きに対応して回転台が回転します。ただし、回転台の動作速度は一定です。



2 レンズ操作のしかた

<アイリス>



- 明るさを合わせるにはアイリスボタンの「開」・「閉」を押して任意の位置で止めます。

ご注意

EEレンズを使用している場合は、アイリスコントロールスイッチは使用できません。常にオートアイリス状態となります。

<フォーカス>



- 近 (N) ---- 近くにピントが合います。
- 遠 (F) ---- 遠くにピントが合います。

- ピントを合わせるにはフォーカスボタンの「近」・「遠」を押して任意の位置で止めます。

ご注意

フォーカススピードコントロールつまみでフォーカス動作速度を変えることはできません。

<ズーム>

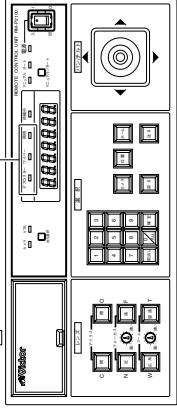
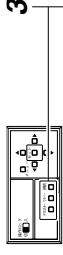


- 広角 (W) ---- ズームが広角になります。
- 望遠 (T) ---- ズームが強くなります。

- 画面の大きさを合わせるにはズームボタンの「広角」・「望遠」を押して任意の位置で止めます。

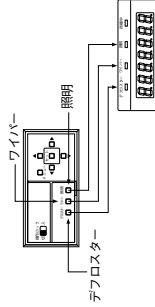
ご注意

ズームスピードコントロールつまみでズーム動作速度を変えることはできません。



3 デプロスター・ワイパー・照明ボタンの操作のしかた

各ボタンとも、ボタンを押すごとに「ON」・「OFF」を繰り返します。
動作中（「ON」状態のとき）は、表示ランプが点灯します。



* 複数のRB-5129が接続されているとき、選出されているカメラ番号に関係なくデプロスター・ワイパー・照明のスイッチを押すことで全てのRB-5129が一斉に動作します。

<デプロスター>

- ハウジングに取付けられたデプロスター（しもとり装置）の動作を「ON」・「OFF」します。

<ワイパー>

- ハウジングに取付けられたワイパーの動作を「ON」・「OFF」します。
- ワイパーゴム、ワイパーモーターの保護のため長時間の動作はおやめください。（詳しくは、ワイパーの「取扱説明書」をご参照ください。）

<照明>

- RB-5129の「AUX」接点を「ON」・「OFF」します。
- RB-5129内部スイッチの切換えてAUTO PANモードに設定すると「AUTO PAN」の「ON」・「OFF」ができます。「ON」状態であると回転台が自動的に左右に往復動作を行います。

ご注意

- SW-2103を使用してRM-P2100を複数台接続時に、RM-P2100-①でメニュー画面を表示中デプロスター・ワイパー・照明ボタンの「ON」・「OFF」をおこなうと、RM-P2100-①の表示は正しく切り替わりますがRM-P2100-②、③の表示は切換らないうえメニュー画面から通常のカメラ映像画面にもなったとき、RM-P2100-②、③の表示は、RM-P2100-①と異なります。
- RM-P2100-①とRM-P2100-②、③の表示が違い違った場合はRM-P2100-①の電源を再投入してください。正しい表示になります。

接続できる商品について

- 本機は以下の機器に適合します。(全て別売) 他の器材と接続するときは本機の仕様を満足することを確認してお使いください。
- システムコントロールユニット・SW-2100 (シリアルNo.の下4桁の数字が0416以降の品)
- リモートコントロールユニット・RM-P2100 (シリアルNo.の下4桁の数字が0401以降の品)
- 回転台 : WB-2502
- カメラハウジング : WB-1502

- ビデオカメラ : TK-S522, TK-S532, TK-S542, TK-S130, TK-S100, TK-S140
- 電動ズームレンズ : HZ-J□□□□, HZ-N□□□□
- カメラコントロールユニット : TK-U1402, TK-U1003, TK-U1004, TK-U1005, TK-U1005, TK-W400, TK-W410, TK-DS00B, TK-D777
- 本機には、マイクユニットは接続できません。マイク内蔵カメラを接続する場合は、スイッチを「OFF」にしてください。
- 他の商品の「取扱説明書」等と重複する部分については、RB-S129「取扱設置説明書」を優先してください。

設置のしかた

警告

⚠️

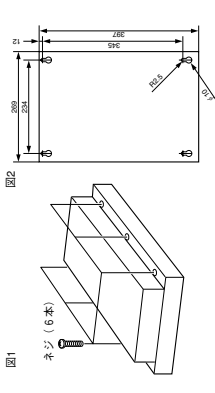
本体と接続される機器の電源は全て切ってから設置してください。

- 1 壁などの材質、構造等を考慮して設置場所を選びます。
- 2 図1に示すトップカバー上のネジ6本を外しトップカバーを外します。
- 3 図2に示す本体内の取付穴4ヶ所を利用して壁に取付けます。ネジの径は4mmをお使いください。
- 4 取り外したトップカバーを取り付けます。

警告

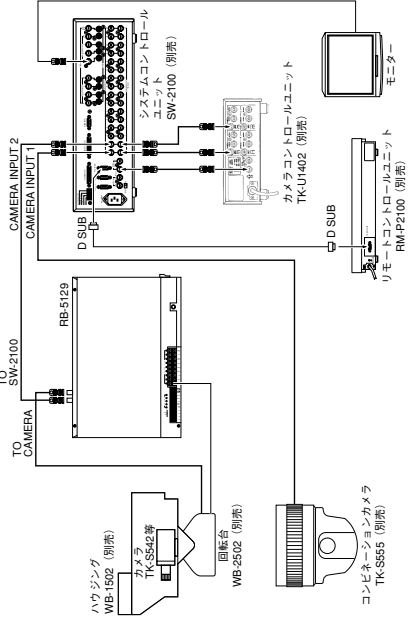
⚠️

本体を壁面などに取付けるとき、本機の重量に十分耐えられる場所確実に固定してください。



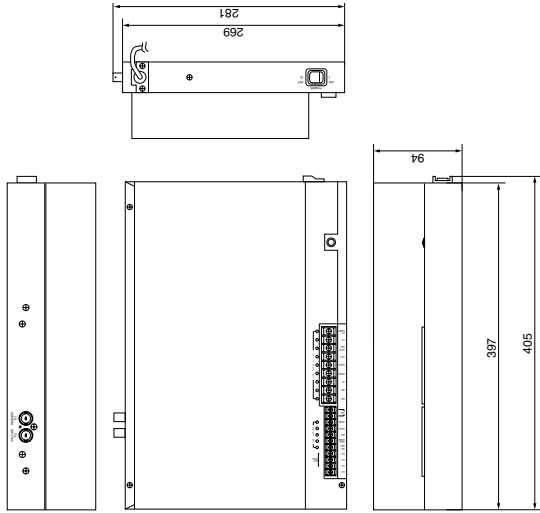
接続方法

- 接続例 (カメラ1にTK-S555, カメラ2にRB-5129を接続した場合)



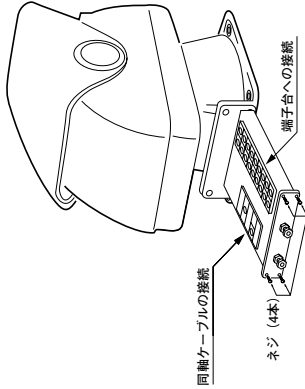
定格

- 適合機種
 - ・システムコントロールユニット : SW-2100
 - ・リモートコントロールユニット : RM-P2100
 - ・カメラコントロールユニット : TK-U1402, TK-U1003, TK-U1004, TK-U1005, TK-DS00B, TK-D777, TK-W400, TK-W410
- カラービデオカメラ
 - ・電動ズームレンズ : TK-S522, TK-S532, TK-S542, TK-S130, TK-S140
 - ・回転台 : HZ-J□□□□, HZ-N□□□□
 - ・カメラハウジング : WB-2502
 - ・カメラハウジング : WB-1502
- SW-2100接続端子
 - カメラ接続端子
 - 回転台接続端子
- レンズコントロール電圧 : PAN (LEFT, RIGHT, AUTO PAN) または TILT (DOWN, UP) AC24V/連続最大1.9A (無負荷時26.5V)
- システムコントロール電圧 : ZOOM, FOCUS, IRIS DC±6.3V/連続最大120mA
- ハウジングコントロール電圧 : WIP (ワイパー) AC24V 連続最大600mA (無負荷時26.5V) DEF (デフラスター) AC24V 連続最大600mA (無負荷時26.5V) F/H (ファン/ヒーター) AC24V 連続最大2.2A (無負荷時26.5V)
- 電源 : AC100V 50/60Hz
- 周囲温度 : -10℃ ~ 50℃ (動作)、0℃ ~ 40℃ (推奨)
- 消費電力 : 175W (定格負荷時)
- 質量 : 8.5kg
- 添付物 : 取扱設置説明書 1
保証書 1
業務機器ビクターサービス窓口案内 1
- 外形寸法 (単位: mm) : 幅405mm, 高さ94mm, 奥行281mm



接続方法

- 回転台WB-2502との接続



注意

接続される機器の電源は全て切ったからケーブルの接続をおこなってください。

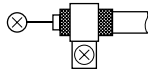
1. 左図のようにネジ (4本) をゆるめ端子台を引き出してください。
2. 同軸ケーブルの接続をおこなってください。

ご注意

- 回転台をつり下げて設置する場合、回転台の動作とRM-P21000のパン/チルトコントロールレバーの操作(上、下、左、右)が逆になり、本機内部のスイッチの設定変更が必要です。

11ページ「RB-5129の設定」をご参照ください。

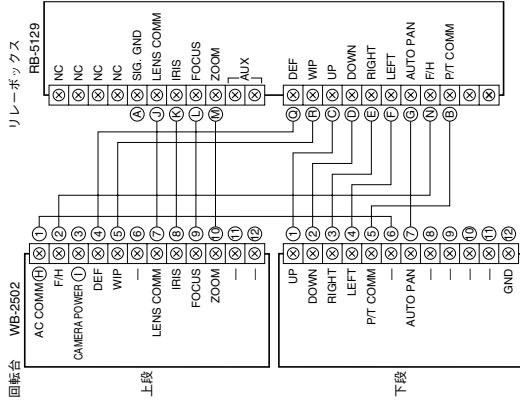
同軸ケーブルの接続



- 同軸ケーブルの最大延長距離は使用するカメラコントロールユニットにより下記の様になります。

同軸ケーブル	ケーブル補償 無	ケーブル補償 有
3C-2V	200m	200m
5C-2V	350m	500m
7C-2V	500m	500m

端子台への接続



- 本機と回転台間の接続に使用するケーブルの太さは設置条件により異なりますが下記を参考に決めてください。

最大延長距離

電源太さ (mm)	0.65	0.9	1.2	1.6	2.0
延長距離 (m)	10	25	40	60	140

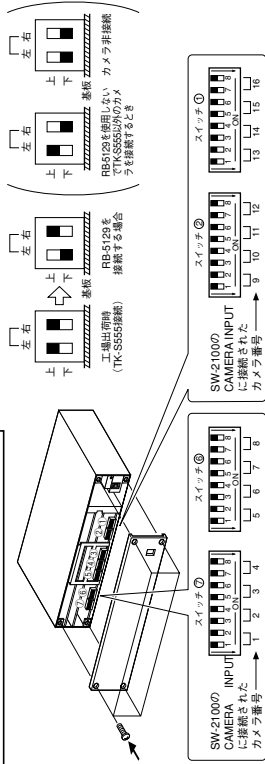
SW-2100の設定 (必ずおこなってください)

本機をSW-2100と接続し使用するには、SW-2100内部のスイッチの切換えが必要で、(SW-2100の取扱説明書 6～7ページを合わせてご参照ください。)

警告

本機と、接続される機器の電源は全て切ったからスイッチの設定をおこなってください。

1. 下図のようにネジ4本をはずし、フロントパネルをあげます。
2. 本機を接続したカメラの番号に対応したスイッチを以下のよう切換えます。



RB-5129の設定

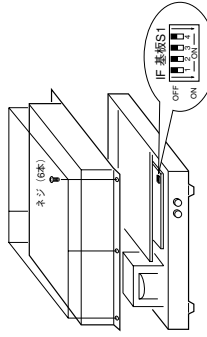
以下の場合本機/F基板のスイッチ (S) の設定変更を行う必要があります。

- リモートコントロールユニットRMP2100の「照明」ボタンで回転台の「ON」・「OFF」を行うとき。(この場合、本機のAUX端子はご使用にできません。)
- 回転台をつり下げて使用する時
- オートパン動作時に、RMP2100の操作レバーでマニュアルのパン動作をおこなうことにより、オートパン動作を解除させるとき。

警告

本機と、接続される機器の電源は全て切ったからスイッチの設定をおこなってください。

1. 右図の様にネジを6本とり、トップカバーを外します。
2. IF基板上にスイッチS1があります。用途に従って切換えを行います。



ご注意

- スwitchの切り換えは、カチッとした節感を感じるまで確実に行って下さい。中途半端な位置ですこ正しく設定されなかったり、誤動作の原因となることがあります。

ピン番号	ON/Off	機能
1	OFF側	“照明” ボタンでAUX端子の“ON”・“OFF”をするとき (工場出荷時)
	ON側	“照明” ボタンでオートパン動作の“ON”・“OFF”をするとき
2	OFF側	回転台をおおきで使用するとき (工場出荷時)
	ON側	回転台をつり下げて使用するとき
3	OFF側	オートパン動作中にパン操作をおこなってもオートパン動作を解除させないとき (工場出荷時)
	ON側	オートパン動作中にパン操作をおこなってもオートパン動作を解除させるとき
4		使用できません (必ず“OFF”側に設定してください。誤動作の原因となります。)